

しもつけし ぎかい だより

令和5年11月15日発行

令和5年第3回定例会 9月議会

—— 今号のポイントは？ ——

- 執行状況チェック&本市の財政状況は？
令和4年度決算審査特集 … P 2
- 令和5年度一般会計補正予算 … P 4
- 15名の議員が市政を問う 一般質問 … P 7
- 読めば答えが見えてくる!?
ぎかいだよりクイズ … P 16

教育福祉常任委員会



石橋複合施設内児童館

経済建設常任委員会



西原公園

総務常任委員会



市民活動センター

各常任委員会で 現地調査を実施しました

常任委員会審査報告は
5ページをご覧ください

しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

下野市 市議会



No.70

令和5年第3回 定例会

8月31日(木)～9月25日(月)

令和5年第3回定例会は、8月31日から9月25日までの26日間の会期で開催されました。

市長提案により、人事案7件、報告6件、令和4年度決算認定8件、令和5年度補正予算8件、条例の一部改正等の議案3件の計32件が提出されました。

一般質問では3名の会派代表質問、12名の個人質問が行われ、市の対応や考え方を問いました。

令和4年度決算をチェック！ 税金の使い方を確認しました

市長は、翌年度の予算を決める3月の定例会までに、監査委員がチェックした前年度決算について議会の審査を受けなければなりません。

9月議会では、決算内容の説明、代表監査委員からの審査報告、総括質疑(4ページに質疑の一部が掲載されています)、総務・経済建設・教育福祉の各常任委員会の審査を経て、本会議で全ての決算を認定しました。

令和4年度一般・特別会計歳入歳出決算

会計名		歳入	歳出
一般会計		304億6,718万8千円	278億8,305万7千円
特別会計	国民健康保険	56億2,330万5千円	54億 999万2千円
	後期高齢者医療	7億2,429万3千円	7億2,197万6千円
	介護保険	46億1,884万5千円	43億8,360万9千円
	石橋駅周辺土地区画整理事業	1,177万9千円	976万 円
	仁良川地区土地区画整理事業	5億1,410万 円	4億1,442万6千円

令和4年度企業会計決算 (税込)

区分		収入	支出
水道事業	収益的収支	10億8,663万8,430円	9億2,773万4,855円
	資本的収支	1億9,731万3,000円	7億 583万2,425円
下水道事業	収益的収支	21億7,622万3,668円	18億5,106万1,506円
	資本的収支	10億5,139万9,860円	14億4,966万7,391円

健全化判断比率は良好 健全財政を維持

自治体は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率(注1)、将来負担比率を公表することになっています。令和4年度は全会計で赤字の該当はなく指摘すべき事項は特になく結果でした。実質公債費比率は県平均5.4%のところ2.9%、県内14市中3位の結果となり、平成18年度(合併当初)の17.4%から大幅に改善されています。今後はコロナウイルス感染症を考慮しつつ、安定的な税収を維持するために注視する必要があります。

主な財政指標の推移

項目	平成18年度 (合併当初)	...	令和元年度	2年度	3年度	4年度
経常収支比率 (%)	87.8	...	87.6	85.1	84.5	89.8
財政力指数	0.826	...	0.750	0.742	0.719	0.703
実質公債費比率 (%)	17.4	...	1.8	1.6	2.1	2.9
将来負担比率 (%) (△はマイナス) ※平成19年度より適用となる指標のため参考として掲載	42.8	...	△ 54.6	△ 54.7	△ 39.8	△ 42.6

注1 実質公債費比率… 公債費(借金の返済金)が標準財政規模(注2)に占める割合を示す。18%を超えると借入に県の許可が必要となり、25%を超えると借入が制限される。低いほど良い。

注2 標準財政規模… 税収等+地方交付税+臨時財政対策債発行可能額(令和4年度は約155.8億円)

監査委員による決算審査意見

一般会計決算における歳入歳出は、共に前年度に比べ減額となった。歳入は、市税、地方消費税交付金、繰入金、繰越金などが増えているものの、地方特例交付金、国庫支出金、諸収入、市債などが減額となった。歳出は、総務費、衛生費、農林水産業費、商工費などが増えているものの、民生費、消防費、教育費などが減額となり、歳入から歳出を差し引き翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支については、前年度に比べ減額となった。

今後、福祉や社会保障制度、公共施設等に係る経費などに多くの財政負担が必要となることを見込まれるため、重要な原資である市税や保険料等について、安定的な確保に努めるよう要望する。



決算審査報告を行う
星野代表監査委員

令和4年度一般会計決算

歳入(もらったお金)

304億6,718万8千円

(前年度比24億8,069万7千円 7.5%減)

●市税(市民税、固定資産税など。個人と法人がある)

102億5,442万8千円(前年度比4.9%の増)

- ・個人市民税においては事業所得、給与所得等の増加に伴う増
- ・法人市民税においては業績回復・好調に伴う増
- ・固定資産税においては新築家屋・工場等の増、及び新規設備投資の増

●国庫支出金(特定の事業のために国から配分される)

50億7,355万9千円(前年度比20.5%の大幅な減)

- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金の減
- ・公立学校施設整備費負担金の減
- ・学校施設環境改善交付金の減

●地方交付税(所得税、酒税、消費税の一定割合及び地方法人税の全額)

45億768万4千円(前年度比1.4%の増)

歳出(使ったお金)

278億8,305万7千円

(前年度比23億1,095万7千円 7.7%減)

●民生費

96億4,026万1千円(前年度比6.0%の減)

- ・社会福祉総務費(医療費助成など) 24億7,052万6千円
- ・保育園費(保育園運営、教育・保育施設型委託など) 21億1,733万6千円
- ・障がい福祉費(障がい者給付事業など) 16億4,959万3千円

●総務費

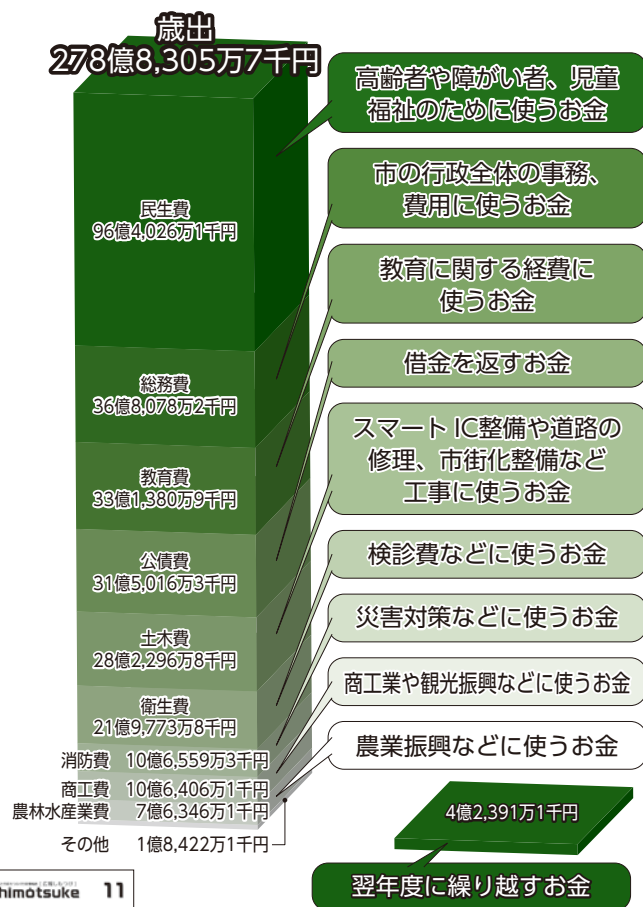
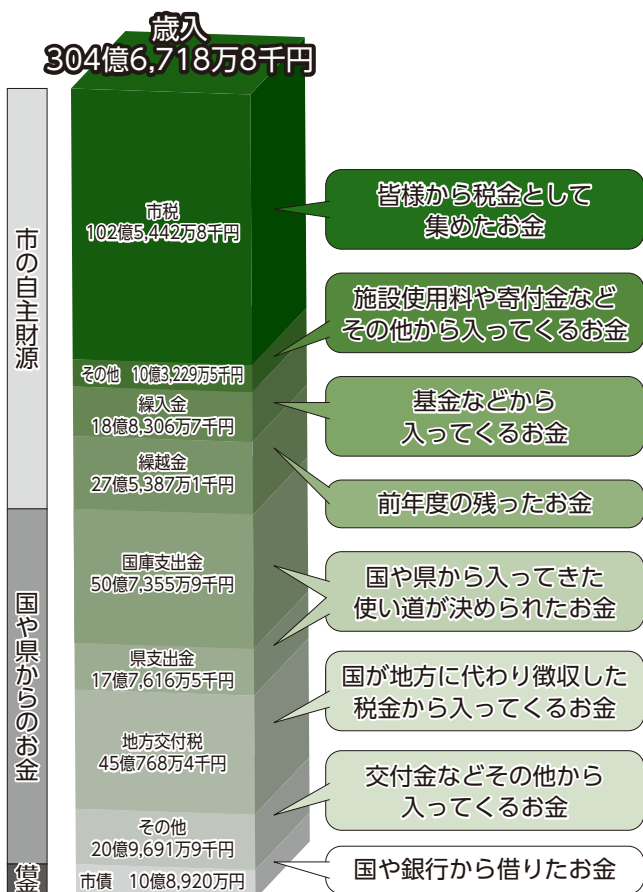
36億8,078万2千円(前年度比16.1%の増)

- ・財政管理費(各種基金積立金など) 14億348万9千円
- ・情報管理費(情報ネットワーク管理事業など) 2億9,494万8千円
- ・財産管理費(庁舎等施設管理費など) 1億4,210万1千円

●教育費

33億1,380万9千円(前年度比43.4%の大幅減)

- ・公民館費(石橋複合施設整備事業など) 8億4,039万3千円
- ・事務局費 7億3,108万3千円
- ・学校給食費(小・中学校給食管理事業や学校給食センター管理事業など) 3億520万8千円



区分	金額
①歳入総額	304億6,718万8千円
②歳出総額	278億8,305万7千円
③歳入歳出差引額(形式収支)	25億8,413万1千円
④翌年度に繰り越すべき財源	4億2,391万1千円
⑤実質収支(翌年度繰越金)	21億6,022万 円

(令和4年度一般会計決算書「実質収支に関する調査」)



令和4年度決算の詳しい内容は、広報しもつけ11月号(P.6~)をご覧ください。
←こちらの2次元コードを読みとってアクセスできます。

人事

■人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員について、諏訪^{すわ} 守^{まもる}氏を再任として推薦することを了承しました。

■政治倫理審査会委員の選任

政治倫理審査会委員について、下記6名を選任することに同意しました。(敬称略)

氏名	住所	新任・再任
田中 嘉彦 <small>たなか よしひこ</small>	東京都	再任
田中民樹子 <small>たなか みきこ</small>	小山市	再任
手塚 英男 <small>てつか ひでお</small>	笹原	再任

氏名	住所	新任・再任
若崎 義和 <small>わかざき よしかず</small>	祇園五丁目	再任
大古理恵子 <small>おおこり えこ</small>	石橋	再任
玉置 教恵 <small>たまおき のりえ</small>	石橋	新任

条例その他

議決した主な議案についてお知らせします。



印鑑条例の一部改正

現在は、マイナンバーカードでコンビニエンスストアのマルチコピー機から印鑑登録証明書の交付が受けられます。今後は、利用者証明用電子証明書が記録されたスマートフォンでも印鑑登録証明書の交付が受けられます。

●利用できるスマートフォン

当面はOS(基本ソフトウェア)がAndroid 9.0以上のもの

利用者証明用電子証明書とは

マイナンバーカードのICチップ内に登録されている公的個人認証サービスにて発行される電子証明書

令和5年度各会計補正予算を議決

一般会計補正予算 (第3号)

原油価格・物価高騰対策の経費を計上

11億6,079万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を281億192万円としました。

歳入では、令和5年度普通交付税交付額、令和4年度一般会計決算に伴う繰越金、各特別会計の決算による繰入金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの補助金を計上しました。歳出では、水道料金基本料減免等の原油価格・物価高騰対策に係る事業経費や、国県補助金を活用した各種事業経費を計上しました。

■令和5年度各会計補正予算

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計	第3号	11億6,079万2千円	281億 192万 円
特別会計	国民健康保険(第1号)	2億 700万5千円	54億4,646万4千円
	後期高齢者医療(第1号)	340万2千円	7億5,601万4千円
	介護保険(第1号)	1億6,761万3千円	47億3,171万8千円
	石橋駅周辺土地区画整理事業(第1号)	201万9千円	1億3,655万8千円
	仁良川地区土地区画整理事業(第1号)	3,194万9千円	4億4,459万5千円

■令和5年度企業会計補正予算

区分		補正額	補正後の予算額
水道事業 (第1号)	収益的収支	収入	△ 346万円
		支出	22万円
			10億2,683万1千円
			10億2,942万1千円

一般会計補正予算 (第4号)

ふれあい館改修の経費を計上

2,500万円を追加し、歳入歳出予算総額を281億2,692万円としました。

歳入では、公共施設整備基金繰入金を計上し、歳出では、ふれあい館の自動火災報知設備受信機の改修工事請負費を計上しました。

■令和5年度各会計補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計 第4号	2,500万円	281億2,692万円



常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会での審査内容をお知らせします。

総務常任委員会

◎村尾 光子 ○松山 裕
秋山 幸男 石川 信夫 西本 由利子 坂倉 司

認定第1号 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定

市民税

Q 歳入について、個人・法人ともに増額となった要因を伺う。

A 所得環境の緩やかな改善により、納税義務者数は前年比400人増となった。また、企業収益改善により大幅な増収となった。

指定寄附金（ふるさと寄附金）

Q 改めて収支状況を伺う。

A 令和4年度の納税寄附額は1,831万2千円で前年比増だが、流出額が約2億2千万円で毎年増加している。寄附額から経費を引き、そこに流出額の75%の交付税措置を加算した結果、マイナス約4,480万円となる。寄附額の増加以上の流出額が赤字の要因である。

現地調査



ビレッジハウス
(旧雇用促進住宅) 駐車場



街頭防犯カメラ



地久目喜公民館

教育福祉常任委員会

◎伊藤 陽一 ○山下 みゆき
大島 昌弘 相澤 康男 加藤 好雄 鈴木 一司

認定第1号 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定

1歳児担当保育士増員事業補助金

Q 保育士は何名増えたのか伺う。

A 保育士1名あたり3名という基準があり、5園に補助金を支出し、8名が増員となった。

スクールアシスタント配置事業

Q スクールアシスタントの配置状況について伺う。

A スクールアシスタントとして学校生活支援員の介助を29名、図書関係を13名、細谷小学校の学級支援指導助手を2名、情報教育アドバイザーを2名配置、教育アドバイザーは2名体制となった。

現地調査



認定こども園 (薬師寺保育園)



スポーツ交流館屋根改修



石橋複合施設内

認定第1号 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定

強い農業・担い手づくり総合支援交付金

- Q 交付金の収入済額が低い要因を伺う。
A 年度末に採択された分は翌年度に繰り越すため。

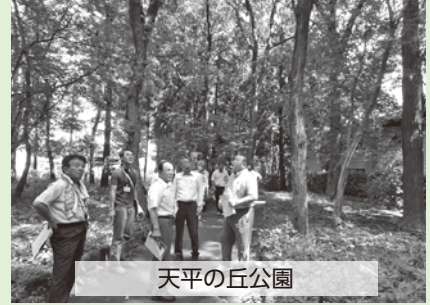
しもつけ産業団地整備推進事業

- Q 委託料の内訳を伺う。
A 地区外整備として雨水管設置のため、山林伐採費用や測量設計費用に委託料として支出している。雨水管本体工事費は工事請負費として支出する。

委員会報告
審議結果



現地調査



第3回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

議案等番号	付議事件	結果	坂倉 司	山下 みゆき	西本 由利子	鈴木 一司	石川 浩	松山 裕	加藤 好雄	金子 康法	伊藤 陽一	五戸 豊弘	貝木 幸男	石川 信夫	相澤 康男	大島 昌弘	石田 陽一	小谷野 晴夫	秋山 幸男	村尾 光子
認定4号	令和4年度下野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-	○	○	○

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…議長は表決に加わらない

全会一致で答申・同意・承認・可決されたもの

議案等番号	付議事件	議案等番号	付議事件
諮問2号	人権擁護委員の候補者の推薦	議案34号	令和5年度下野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
同意第4~9号	下野市政治倫理審査委員の委嘱	議案35号	令和5年度下野市介護保険特別会計補正予算(第1号)
認定1号	令和4年度下野市一般会計歳入歳出決算認定	議案36号	令和5年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
認定2号	令和4年度下野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	議案37号	令和5年度小山栃木都市計画事業仁良川地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
認定3号	令和4年度下野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	議案38号	令和5年度下野市水道事業会計補正予算(第1号)
認定5号	令和4年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	議案39号	令和4年度下野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分
認定6号	令和4年度小山栃木都市計画事業仁良川地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	議案40号	令和4年度下野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
認定7号	令和4年度下野市水道事業会計決算認定	議案41号	下野市印鑑条例の一部改正
認定8号	令和4年度下野市下水道事業会計決算認定	[追]議案42号	令和5年度下野市一般会計補正予算(第4号)
議案32号	令和5年度下野市一般会計補正予算(第3号)		[追]…追加議案
議案33号	令和5年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		

議会に報告があったもの(表決はありません)

議案等番号	案件名	内容
報告11号	令和4年度下野市一般会計継続費精算報告書	自治医大駅前周辺整備事業及び石橋複合施設整備事業について事業が終了したことによる精算報告。
報告12号	令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率	全会計が黒字決算。実質公債費比率は2.9% (昨年度1.8%) と良好な財政状態を維持している。
報告13号	令和4年度公益財団法人下野市農業公社の経営状況報告書の提出	農地集積推進事業、農作業受委託推進事業、営農集団及び農業生産法人育成事業など、令和4年度の事業報告。新型コロナウイルスにより市民農園まつりなど一部事業が中止となった。
報告14号	令和4年度株式会社道の駅しもつけの経営状況報告書の提出	令和4年度(第13期)の事業報告。売上は道の駅しもつけ、ふれあい館、三山ふれあい公園を合わせて19億5,348万円(税込)となった。道の駅しもつけでは駐車場の増設や店内エアコンの入れ換え工事などが行われた。
報告15号	令和4年度一般財団法人グリムの里いしばしの経営状況報告書の提出	ホール事業や企画展示事業など、令和4年度の事業報告。
報告16号	令和5年度下野市教育委員会点検・評価報告書の提出	令和4年度の教育委員会に関する事務事業の点検及び評価の結果を報告。

市政を問う 一般質問



※一般質問は議会ホームページで動画を公開しています。

第3回定例会では、15名の議員が市政に対し質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

今回の質問者は

【会派代表質問】

1. 大島 昌弘 議員(清明会).....P 7
2. 石川 浩 議員(下野市民派クラブ)・・P 8
3. 秋山 幸男 議員(一心会).....P 8

【個人質問】

4. 小谷野晴夫 議員.....P 9
5. 西本由利子 議員.....P 9
6. 相澤 康男 議員.....P 10
7. 松山 裕 議員.....P 10
8. 貝木 幸男 議員.....P 11
9. 五戸 豊弘 議員.....P 11
10. 石川 信夫 議員.....P 12
11. 伊藤 陽一 議員.....P 12
12. 山下みゆき 議員.....P 13
13. 加藤 好雄 議員.....P 13
14. 金子 康法 議員.....P 14
15. 村尾 光子 議員.....P 14

会派代表質問

清明会



おおしま まさひろ
大島昌弘議員が問う

自治振興

自治会への支援策及び補助金について伺う

市長 加入促進策と補助金を拡充する

Q 自治会への加入状況、自治会加入の促進策について伺う。

A 市長 加入率は平成30年度が65.6%、今年度が61.1%である。自治会は地域コミュニティにおいて中心的な役割を果たしており、住んでいる地域の環境、安全安心が保たれている。加入促進の方策として、自治会の重要性を十分に市民へ伝えるため、自治会長ガイドブックや自治会加入促進ハンドブックを作成・配布しているほか、ホームページで周知している。昨年には、本市、自治会長連絡協議会、(公社)栃木県宅地建物取引業協会との3者間で自治会への加入促進に関する協定を締結した。また、自治会振興費交付金の見直しや、自治会公民館の維持管理・改築等に対する補助金の拡充に向けた検討も必要と考えている。

A 総合政策部長 自治会へ加入しているメリットが感じられる方策として、ごみ袋配布等の費用負担軽減策の実施をごみ減量化の推進の妨げにならない範囲で検討する。



薬師寺地区廃家電問題について

Q 薬師寺地区廃家電の今後の対応について伺う。

A 市長 まずは廃家電を置いた当事者、土地の所有者への連絡、通達、指導を行い、市としての責任を果たす。解決の兆しが見えない場合は、住民の皆様の安全安心のために市行政がさらなる方法、あらゆる方法を考え、地域を守るために解決できる方法を検討し、解決していきたい。



会派代表質問
下野市民派クラブ

いしかわ ひろし
石川 浩議員が問う

子育て支援

人口減少を食い止める新たな市独自の施策は

市長 第3期下野市子ども・子育て支援事業計画を策定する

Q 少子化や人口減少を食い止める新たな市独自の施策について、2月の一般質問に続き、再度質問するが、最新状況は。

A 市長 令和7年度から11年度の5年間を計画期間とする「第3期下野市子ども・子育て支援事業計画」を来年度策定する。市独自の施策については、他自治体の成功例を参考にしながら研究する。

都市計画道路「旭ヶ丘通り」の延長整備

Q 旧国分寺町は、昭和45年10月1日に都市計画法の線引きにより宅地化を図る市外化区域と農地を保全する調整区域の線引きが行われ、昭和46年に市街化区域の小金井駅東地区53.5ヘクタールの土地区画整理事業に着手し、道路公園、上下水道、小学校等を整備し昭和52年には今のような住宅地が完成したが、旭ヶ丘通りの東西延長が未解決のままになっている。53年が経過しているが整備計画を伺う。

A 市長 旭ヶ丘通りは幹線道路網整備計画の中で長期計画に位置付けられ、東西軸としての発展が期待されるが、現時点で具体的な整備計画はない。

A 建設水道部長 県道への格上げを県に相談する。



下野市都市計画マスタープラン抜粋



会派代表質問
一心会

あきやま ゆき お
秋山幸男議員が問う

農業振興

農業費補助金は、今後要望に対応できるか

市長 補助金は、次年度の当初予算に適切に反映

Q 国の新規就農者への助成金、補助金はハードルが高く支援が受けられない状況である。本市で創設している農業振興費、補助金、担い手支援は好評であり希望者多数で、予算内での対応は難しいとのことだが、執行状況を伺う。

A 市長 本年度は申請件数、申請額が予算を大幅に上回る状況で例年に比して補助率が低くなってしまった。今後これまで以上に申請の増加が予想されるので、次年度の予算については適切に反映できるよう検討する。

別処山公園ナイター照明について

Q 別処山公園ナイター照明が使用不能となり2年近く経過している。早急な整備を求めらる。

A 教育長 令和4年度当初予算でリース方式の契約を検討したが、改めて令和5年度当初予算で従来の入札による修繕を検討し、施設全体の更新工事を実施し長寿命化を図るとの判断に至った。発注方法は緊急事態に対応可能な地元業者が参加可能な入札方式にした。一日でも早く改修を実施し、利用者の皆様に満足して利用していただける施設となるよう取り組んでいく。





こやのはるお
小谷野晴夫議員が問う

学校給食

長引く物価高の中、独自の給食費への支援は

教育長 米飯給食用米の現物給付事業として、食材料費の補助をしている

Q 新聞報道で給食費の負担額は県内自治体の上から3番目であったが、本年度の支援状況は。

A **教育長** 週に3～4日提供している米飯に係る米の購入費用を市が全額負担している。事業費として約1,930万円を計上しており、児童・生徒1人あたりに換算すると月額約344円になる。内閣府から公表されたこども未来戦略方針において、学校給食費の無償化の実現に向けて、全国ベースでの実態調査を行い、1年以内にその結果が公表される。その上で給食実施状況の違いや法制面も含め課題の整理を行い、具体的方策を検討するとの方針が示されたので、市教育委員会としては、国の動向を注視するとともに、あらゆる機会を捉えて国・県への要望活動に取り組んでいきたいと考えている。

Q 下野市で子育てをしたい、子育てをするなら下野市に移り住みたいと思える施策を展開して、若い世代に選ばれる市を今後も作っていただきたい。市長の考えを伺う。

A **市長** 市として、積極的に給食費支援に前向きにできる限り支援させていただきたいと考えている。



このほかの質問

各種団体への活動補助金について



にしもと ゆりこ
西本由利子議員が問う

窓口創設

多様化する福祉や子育て相談にどう対応する

市長 今年度10月と来年度始めに新たな相談窓口を開設する

Q 福祉に関わる悩みについて、どこに相談すればよいか分からない市民のためにワンストップ窓口を開設するとのことだが、具体的な内容を伺う。

A **市長** 10月2日より社会福祉課地域共生グループ内に「福祉まるごと相談窓口」を開設する。ひきこもり状態にある方やその家族、ダブルケア、孤独や孤立を感じている人、その他福祉に関するあらゆる悩みを気軽に相談できる窓口である。相談支援包括化推進員1名、保健師1名、事務員2名体制とし、訪問や電話、メールにも対応する。

Q 子ども家庭センターの設置について、その取組方針や計画について伺う。

A **市長** 令和6年4月から開設できるよう、現在、組織再編に向け準備を進めている。現在のこども福祉課と健康増進課それぞれが持つ子育て支援機能を合体し独立させる。体制としては、新たに配置する統括支援員を中心に、子ども家庭支援員と保健師等が連携しながら母子保健と児童福祉の一体的な支援を構築する。





あいざわ やす お
相澤康男議員が問う

公園整備

ふれあい館・ふれあい公園の充実に向けて

市長

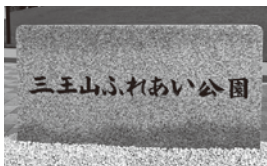
次期総合計画と都市計画マスタープランの中で機能向上を検討する

Q ふれあい館の入浴施設について今後の方針を伺う。

A 市長 建物全体の老朽化が進んでいる状況から、露天風呂は2年前から休止している。漏水箇所の特が困難であり、内風呂のみで営業している。プール事業については、さらなる強化と充実に努めていく。

Q ふれあい公園の今後の方向性を伺う。

A 市長 道の駅しもつけ、ふれあい館、周辺施設との連携を強化して、新たに地域全体での活性化が図れるよう取り組むとともに次期総合計画及び都市計画マスタープランの中での既存の設備を改善しつつ、キャンプサイトの増設や設備の機能向上を検討して、本市を代表する観光交流拠点として強化していく。



「総合計画」

下野市のすべての計画の最上位の、まちづくりの基本となる計画。

「都市計画マスタープラン」

総合計画の分野別計画として本市の都市計画に関する事業や施策を進める上で目標や基本方針を定めるもの。



まつ やま ひろし
松山 裕議員が問う

地域整備

石橋駅西地区まちづくりの取り組み状況は

市長

コンパクトなまちづくりによる住みやすい環境づくりを目指したい

Q 昨年12月、石橋公民館と児童館の機能を併せ持つ石橋複合施設がオープンしたが、旧石橋公民館跡地の活用方法について伺う。

A 市長 土地の有効活用に向けた検討を進めてきたところ、宅地として分譲することが最良の利活用方法との方針整理を行った。

Q 宅地として公表する場合の条件に、移住・定住の観点から、市在住の若者・出身者を優先する考えはあるか。

A 市長 移住・定住につながる非常に良い提案である。可能性や有効性、社会的ニーズを十分検討し対応していければと考えている。

Q 石橋駅西口の歩道に破損している箇所が見られるが、通勤通学者の安全確保のため歩道の改修を願いたい。また、道路の点検はどのように行っているのか。

A 市長 石橋駅の景観を配慮した自然石などの特殊ブロックを使用しており、製品入手困難のため、応急的に随時補修している。

A 建設水道部長 道路補修の建設課再任用職員が市内パトロールをしながら簡易的な補修を行っている。



第二次下野市
総合計画
2016~2025年度



かい き ゆき お
貝木幸男議員が問う

施設活用

大松山運動公園プールの今後の方向性を伺う

教育長 既存施設の在り方を含め、長期的な視野に立って検討する

Q 令和2年に廃止になった大松山運動公園のプールの今後の方向性を伺う。

A **教育長** 既存公園の課題に加え、将来、老朽化対策が必要となる石橋体育センター、スポーツ交流館、及び石橋図書館の施設の在り方なども考慮する。長期的な視野に立ってプール跡地を含む大松山運動公園全体を対象に、民間活力導入による整備事業の可能性を検討していく。



大松山運動公園プール入口

グリムの館仮設駐車場について

Q グリムの館では、イベント開催時に駐車場が不足する時もある。仮設駐車場を確保できないか。

A **市長** グリムの森・グリムの館東側駐車場は118台収容可能であり、大型イベント時には古山小学校教職員駐車場や近隣事業者社員駐車場あわせて125台分を臨時駐車場として対応している。今後、近隣公共施設である古山小学校校内敷地や事業者への協力要請を行うとともに、施設との距離、交通事情等を考慮しながら対応方策を検討していきたい。また、ゆうがおバスの利用をお願いする取組も強化していく。

このほかの質問

市民体育祭について



ご のへ とよ ひろ
五戸豊弘議員が問う

高齢福祉

認知症にならないための取組について伺う

市長 他の自治体の動向を注視し、検討したい

Q 高齢化とともに認知症患者も増加傾向にある中で、難聴は認知症の危険因子として注目されている。認知症を防止する取組について伺う。また、難聴で18歳未満の子どもの場合は補聴器の購入助成等の補助があるが、18歳以上の難聴者への助成制度等についての見解を伺う。

A **市長** 認知症予防のための事業として、地域ふれあいサロンではフレイル予防や能力アップトレーニング教室等の各種事業を実施している。未実施のサロンには事業勧奨を継続し、認知症予防の意識を広めていきたい。また、早期発見、早期治療につなげるための相談窓口のPRとして、公民館等を活用し地域包括支援センターの職員の出張相談を行っている。補聴器については、障害者総合支援法における補装具支給事業の対象とならない軽度・中等度難聴の18歳以上の方に助成している県内市町はなく、今後国の施策や予算に関する提言の中で補助制度創設等について必要な措置を講ずることを求めていくとともに、県に対し事業拡充の要望を行うほか、他自治体の動向を注視して検討していく。



このほかの質問

学校給食費について



いしかわのぶ お
石川信夫議員が問う

GIGA

教員の負担は重くなっていないか

教育長

機器の使用方法の理解に苦慮する場合もあるが支援を強化している

Q 新聞報道を見て、教育現場で教員の負担が大きくなっていると感じた。GIGAスクールがスタートして見えてきた課題について伺う。

A 教育長 新聞記事では、子どもたちが関係するSNSによるトラブル等の事例が掲載され、子どもたちがネットの情報を信じ込むことにより学校での授業や学級経営に支障が生じ、教員の負担が増えていることが取り上げられていた。新聞内容のような報告はないが、どこの学校においても起こりうる事例と考えている。

Q 授業中端末をずっと見続けていた児童の変化に「ネットに強く影響を受けた子に教師として出来ることは何だったのか」と苦悩している教員もいる。発端は学校で起きていると思うがどうなのか。

A 教育長 予防が一番大事であり、そういった事例が起きた場合、学校以外のサポートセンター、スクールカウンセラーとも情報共有し、早めの対応にあたりたい。

Q 教員がつらい思いをしているという話はないか。

A 教育長 大きなトラブルの報告はないが、新たなICT機器の活用の面で、理解に困っているという話はある。

育児休業期間中の保育所の継続入園について

Q 下の子が1歳になるまで入園を認めてほしい。

A 市長 状況は理解している。環境整備の下準備をしたい。

「GIGAスクール構想」

児童生徒1人1台端末、及び通信ネットワークを含む教育ICT環境を整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で実現させる構想



いとうよういち
伊藤陽一議員が問う

デマンド

デマンドタクシーおでかけ号のサービス改善

市長

利便性の向上を図るための施策を検討する

Q デマンドタクシーおでかけ号の登録者はコロナ禍と比べて139%に増えた。デマンドタクシー事業が広く受け入れられているが、予約がとれない状況もある。サービス向上のための考え方を伺う。

A 市長 登録者数は、令和4年度末現在5,181人と着実に増加している。登録者の増加やコロナ禍による外出制限もなくなったことから、今後、利用希望者がさらに増え、予約が取りづらい時間帯が発生することが想定される。利用や予約方法について積極的に情報発信を行い、利用者の意見を取り入れながら、運行に係る費用も考慮し、利便性の向上を図るための施策を検討していく。

Q 高齢者の運転免許証の返納を呼びかけつつ、高齢者の外出する機会を増やすよう呼びかけ、ドア・ツー・ドアという優れた地域交通のさらなるサービス向上を求めるが、市長の考えを伺う。

A 市長 運行形態、システムについてさらなる便利さを追求するためにも、引き続き調査研究を積極的に続けていく。

下野市デマンド交通

おでかけ号



下野市の乗合タクシーです。ご予約に応じて、ご自宅や公共施設などへお迎えに行きます。途中、他の利用者様にも乗車いただきながら、目的地まで運行します。

★乗り継ぎが不要になりました！

★運行時間内ならいつでも好きなときに！

★電話のほか、スマホやパソコンでも予約OK！

★A1配車システムにより、予約後すぐに乗れる！

運行日等	運行日 月～土曜 運行時間 午前8時～午後6時 運行範囲 下野市全域 ※日曜・祝日及び年末年始(12/30～1/3)は運休	料金	市内、市外どなたでもご登録できます。 中学生以上 300円(1回) 小学生 200円(1回) 未就学児 無料(保護者同伴条件)
------	--	----	--



やました
山下みゆき議員が問う

若者目線

若者に選ばれるために！ 具体的な施策はあるか？

市長

興味、関心、愛着につなげ選んでもらえるよう取り組みたい

Q 我が国が抱える問題（人口減、超高齢少子化問題、人権問題等）は挙げればきりが無い。若者を核にして考えることが問題解決の鍵だと考える。これらの問題を本市ならではの解決に向けて、若者に選ばれるための具体的な施策を伺う。

A 市長 若い世代が地域と関わり活動する機会を増やし、興味、関心、愛着につながる事業を展開し、各世代の方々にも選んでもらえるよう取り組みたい。

Q 具体的に、遊技場がないということへの提案として、コスパを考慮し『ドライブインシアター』の検討をしていただけませんか。

A 産業振興部長 今後、各団体がイベントを仕掛けるにあたり、一つの提案になるアイデアとして情報提供させていただく。

Q 10代の若者が輝き、大人になり恋をし、結婚、子育てとライフステージが本市でできるように願う。

A 市長 本市は、ポテンシャルのある街である。若い人たちに喜んでもらえるよう積極的に誘致し、様々な可能性をしっかりと引き寄せるために取り組んでいく。



かとうよしお
加藤好雄議員が問う

ケアラー

実態調査と周知啓発、 支援策の強化を求む

市長

既存の社会資源を有効活用し、体制整備と支援の充実に努める

Q ケアラーに対する支援が大きな社会課題となっている。誰とも悩みを共有できず、地域社会から孤立し過度な身体的、精神的、経済的負担を強いられている切実な現状がある。市のケアラー実態把握の状況と支援策について伺う。

A 市長 市独自のケアラー実態調査は行っていないが、介護保険申請者を対象とした昨年の在宅介護調査では、高齢者、障がい者ケアラーの6割が女性に偏り、60代以上が72.3%いる。県調査でも「自分が世話をできなくなった後、代わりに世話ができる人」、「緊急時でも安心して預けられる場所」を望む声が多い。ケアラーの実態把握と調査結果を分析し支援策に反映する。

Q 誰もがケアラーとなりうる。潜在的ケアラーの早期発見のための周知啓発、ケアラー負担軽減策および条例制定の見解を伺う。

A 健康福祉部長 リーフレットの作成、広報・啓発活動を検討する。来年度の次期高齢者保健福祉計画や障がい者福祉計画策定の中で、実効性のあるケアラー政策を盛り込むことを検討中であり、現時点では条例の制定は考えていない。

ケアラーはこんな人たちです

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / Illustration: Izumi Shiga



こころやからだに不調のある人への「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアに必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことです。



かね こ やす の り
金子康法議員が問う

予算編成

中長期的に予算編成をどう展開していくのか

市長 産業団地整備や農商工業の活性化支援を強化し安定税収につなげたい

Q 人口減・少子高齢化が進む中、今後の財政運営は厳しさを増すが、中長期的な観点からどう対処するのか、基本的見解を伺う。

A **市長** 安定税収確保のため、産業団地整備や農商工業の振興支援、行政資源配分の最適化推進、公共施設の統廃合・長寿命化対策等を図る。

Q 歳出削減が前提となる中で、事業実施の優先順位・予算確保をどう考えるか。

A **市長** JR3駅を中心としたコンパクトシティ実現のための事業、スマートIC整備を軸に、人口減少に対応した持続可能なまちづくりを目指して各種事業を推進しつつ、DX推進等も踏まえ経費全般にわたる歳出削減を行い、計画的かつ健全な財政運営に努めていく。

Q 10月からの新年度予算編成の全過程を一般市民に公開し、市政の透明性向上と市民参画を図っている自治体もある。本市も公開を検討できないか。

A **市長** 現状、ぎりぎりのスケジュールで変更は困難である。予算編成方針についてはホームページ等で公開している。

当初予算編成の流れ

No.	予算編成の手順	時 期
1	予算編成方針の決定	前年10月中旬
2	各課予算要求	" 10月中旬～11月初旬
3	財政課ヒアリング	" 12月初旬
4	総務部長査定	" 12月中旬～12月下旬
5	市長(副市長)査定	新年1月初旬～1月中旬
6	当初予算(案)の確定	" 1月中旬
7	当初予算(案)を市議会へ提出	" 第1回定例会(3月議会)
8	当初予算(案)の審議	"
9	当初予算(案)の採決	"



むら お み つ こ
村尾光子議員が問う

水道事業

県南広域的水道整備事業 2市1町協議進捗は？

市長 県からの用水供給単価提示後に協議を開始する

Q 昨年第2回定例会で、市長は県南広域的水道整備事業については、2市1町の協議を行って判断すると答弁した。協議はどう進んでいるのか。

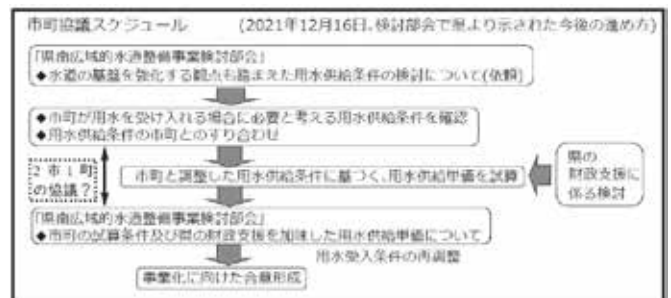
A **市長** 県から協議用の用水供給単価が示された後に各市町が内容の評価を行い、その結果を基に協議を行っていく。

Q この事業への参画は確実に水道料金引き上げにつながる。物価高騰の収束が見えない昨今、この事業からの撤退を決断すべき時期ではないか。

A **市長** 財政的や様々な面を含めて、市民の皆様理解をいただけるようにしっかり決断したい。そのためには様々な検討が必要であり、2市1町での話し合いを進める上でもお互いの理解が必要なので、そのタイミングを見極めたい。

Q 来年4月から水道行政の所管が厚生労働省から国土交通省に移管になると発表された。この事業及び本市にとってどのような影響があるのか。

A **市長** 所管が変わると聞いているが、どのような影響があるかはまだ把握していない。所管変更による財政負担については市民の皆様には負担をかけさせるわけにはいかない。ご理解いただける方法で決断したいと考えている。



市町協議スケジュール(破線枠内は村尾追記)

行政視察報告

議会運営委員会

1日目(7月11日) 登別市議会

議会改革度調査ランキングにおいて全国1位となる議会改革の先進地で、徹底して開かれた議会を目指しているようだ。

議会は公開の場であるので、傍聴者による写真撮影、録画・録音を認めている。これは個々の議員が自身の発言に対する意識を高めることにつながっていると思う。

また、議会サポーター制度では、常任委員会ごとのテーマに応じた専門家的な意見を伺うことができ有意義な学習ができる。

さらに、市議会のホームページが市ホームページから独立し、掲載内容が充実しており、各議員の活動がわかるリンクの設定や各委員会の会議資料の掲載等工夫を凝らしている。

2日目(7月12日) 苫小牧市議会

議会だよりの廃止について、市民アンケートの結果により廃止を決め、市議会ホームページを充実させる等の代替策を講じている。

また、政務活動費については、使途や成果を公開している。

3日目(7月13日) 千歳市議会

議会基本条例の制定が主流である中、改正がしやすい推進プランを策定している。

また、「市民の声を聴く会」や、若者の政治社会参加を促す機会の創出に向け、積極的に取り組んでいる。
(議会運営委員 伊藤陽一)



議会の動き

8月

- 4日 県南6市議会議長会研修会
- 9日 教育福祉常任委員会
総務常任委員会
- 10日 経済建設常任委員会
- 18日 令和5年度中学生議会
- 24日 議会運営委員会
議員全員協議会
- 25日 議会だより編集委員会
議員研修会(オンライン研修)
- 28日 FMゆうがお「こんにちは!下野市議会です」
(出演:総務常任委員会)
- 31日~9月25日 第3回定例会

- 21日 議員研修会(法令・条例の読み方研修)
- 25日 議会だより編集委員会

10月

- 7日 議会活性化特別委員会
- 8、11日 教育福祉常任委員会
- 12、13日 経済建設常任委員会
- 14、15日 総務常任委員会
- 21日 議会運営委員会・議員全員協議会
議会活性化特別委員会

- 2日 議員研修(自治医科大学救命救急センター等視察)
- 3日 高根沢町行政視察来庁
- 4日 愛知県刈谷市行政視察来庁
- 5日 議会だより編集委員会
- 12日~13日 経済建設常任委員会行政視察
- 18日 栃木県市議会議長会議・議員研修会
- 18日~19日 教育福祉常任委員会行政視察
- 20日 議会だより編集委員会
- 21日 市議会主催講演会
「多発する異常気象と天気予報の活用
~下野市の災害対策とは~」
- 23日 FMゆうがお「こんにちは!下野市議会です」
(出演:経済建設常任委員会)
- 25日~26日 全国市議会議長会研究フォーラム
(福岡県北九州市)
- 30日~31日 議会だより編集委員会行政視察

議会年間スケジュール

市議会議員は、議会としての活動以外に、随時研修会等の参加や地域行事に出席するなど幅広く活動しています。議会としての活動については、P.15議会の動きをご覧ください。

4月 アカデミー研修等
5月 第2回定例会
6月
7月 議長会研修等
8月
9月 第3回定例会
10月 行政視察・懇談会等
11月
12月 第4回定例会
1月 議長会研修等
2月
3月 第1回定例会

日	月	火	水	木	金	土
11月26日	27	28	29	30	12月1日	2
				開会	一般会問	
3	4	5	6	7	8	9
	一般会問	委員会付託・総括質疑		常任委員会		
10	11	12	13	14	15	16
					本会議 閉会	

次回
第4回定例会
(12月議会)
の予定

※会議の予定は変更になることがあります。
※日程が決定次第、市議会ホームページでお知らせいたします。

ぎかいだより クイズ

- 1 今定例会で一般質問をした人数（会派代表質問含む）は〇〇人。（過去最多人数でした）
- 2 教育福祉常任委員会が現地調査で行った、〇〇複合施設。
- 3 今定例会で改正した条例は、〇鑑条例のみ。

◀前号のクイズの答え▶ ①：議場 ②：安全 ③：9



＜応募方法＞

①～③までのクイズの答え・住所・氏名・年齢・議会だよりを読んだ感想をお書きのうえ、ハガキ・FAX・メールのいずれかの方法でご応募ください。
正解者の中から、抽選で10名の方に「クリスマスプレゼント」をお送りします。（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。）

＜あて先＞

〒329-0492 下野市笹原26番地
下野市議会事務局
「議会だよりクイズコーナー」宛

＜しめきり＞

12月15日（金）（当日消印有効）

議会だよりの中に答えがあるので探してみてくださいね！

編集後記

今年は地域行事や文化・スポーツイベントが少しずつコロナ前に戻ってきました。地域を最も活気づけるのは、人々の笑顔や笑い声であることを改めて感じる今日この頃です。最近よく耳にする「フレイル」という言葉は加齢により心身が衰える状態を指しますが、その予防には食事や運動だけでなく積極的に社会活動に参加することが推奨されています。それは若く元気な時に取組む方が効果的ということです。健康のためにも、年齢に関わらず地域行事に参加したいですね。議会だよりも、皆さんが読みやすく参加しやすい紙面作りを心掛けています。ご意見やご提案がございましたら、ぜひお聞かせください。（西本由利子）

発行 栃木県下野市議会
編集 議会だより編集委員会

委員長 村尾 光子
副委員長 伊藤 陽一
委員 山下みゆき
西本由利子
石川 浩
金子 康法

※次号（No.71）は2月15日に発行します

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訳CDを貸し出しています。電話 0285(43)1236

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約22.6円です。

